

腎・泌尿器系

オーガナイザー

泌尿器科 原 勲

腎臓内科 荒木 信一

I 一般学習目標

腎・泌尿器科学は、その究極の目的が腎機能保全にあることは言うまでもなく、全身病の一環としての腎臓病学の学習を通じて目標達成手段を理解し実践できる能力を身につける。高齢化社会を迎えた21世紀においては、男性学の重要性も増大している。腎・泌尿器疾患は各臓器が互いに密接に関連する系統的疾患であり、尿の生成や排泄による生体の恒常性の維持調節機構と、それらの異常を惹起する原因について理解し、診断・治療上の問題解決能力を身につける。

II 個別学習目標

(1) 泌尿器科学総論

1. 腎系・尿路系と性器系の密接な関係を説明できる。
2. 病歴は正確な診断のために最も重要であることを説明できる。
3. 検尿の意義および泌尿器科に特有な検査と処置について説明できる。
4. 尿路性器の画像診断について基本的な読影が出来るようになる。

(2) 泌尿器科学各論

5. 尿路性器感染症の成立する原因となる病態を述べることができる。
6. 尿路結石症と尿路感染症・尿路通過障害の相互関係を説明できる。
ESWL および内視鏡的手術についてそれぞれの適応を説明できる。
7. 他臓器外傷との関連を認識しつつ、尿路性器外傷の特徴を説明できる。
8. 尿路上皮腫瘍の特徴、診断および治療について説明できる。
9. 尿路性器の先天異常に関する診断および治療について説明できる。
10. 拒絶反応と組織適合性・免疫制御剤の関係を説明できる。腎移植手術の実際を説明できる。
11. 膀胱機能検査法とその異常を呈する病態と代表的疾患を述べることができる。
12. 女性の特有の泌尿器科疾患に関する病態を説明できる。
13. 前立腺肥大症と前立腺癌の違いについて説明できる。
14. 精巣腫瘍の病態、診断および治療について説明できる。
15. 泌尿器科の代表的な手術に関し適応と手技について説明できる。
16. 尿路通過障害と尿停滞が腎機能におよぼす障害の機序を説明できる。
17. 腎腫瘍の病態、診断および治療について説明できる。

(3) 腎臓病学総論

1. 腎・尿路・血管系の構造と機能とその役割が理解できる。
2. 生理的・生化学的・組織学的な腎機能検査の意味の説明と解説ができる。
3. 蛋白尿、血尿、浮腫のメカニズムを説明できる。
4. 病歴と自覚所見の診断に対する重要性を理解する。
5. 酸塩基平衡の調節メカニズムを説明できる。
6. 腎疾患患者における診察・検査の読み方から診断技術を学ぶ。
7. 水電解質代謝と輸液療法および利尿剤の適応と選択を説明できる。

(4) 腎臓病学各論

8. 糸球体腎炎の種類と特徴を腎生検の適応と腎生検所見も含めて説明できる。
9. ネフローゼ症候群の病型と治療法を述べるができる。
10. 高血圧、糖尿病性腎症の症状と治療法を説明できる。
11. 膠原病病態の診断・症状・病型に合った治療法を説明できる。
11. 尿細管間質性腎炎、痛風腎の種類と特徴を説明できる。
12. 急性腎障害 (AKI) の概念とともに病態と原因を述べ鑑別することができる。
13. 慢性腎臓病 (CKD) の概念とともに病態を説明できる。
14. 尿毒症の症状と病態を説明でき、血液浄化療法のメカニズムを説明できる。

15. 透析患者の合併症の診断および治療について説明できる。
16. 腎臓と老化の関係を概念を理解するとともに、最先端の研究の一端に触れる。

III 講義項目と担当者

- | | |
|----------------------------|-------------|
| (1) 泌尿器科学総論 | |
| 1. 尿路性器の解剖と発生 | 泌尿器科 (原勲) |
| 2. 尿路性器疾患症候学 | 泌尿器科 (原勲) |
| 3. 尿路性器検査、処置 | 泌尿器科 (柑本康夫) |
| 4. 尿路性器の画像診断 | 泌尿器科 (山下真平) |
| (2) 泌尿器科学各論 | |
| 5. 前立腺癌 | 泌尿器科 (原勲) |
| 6. 尿路上皮腫瘍 | 泌尿器科 (柑本康夫) |
| 7. 尿路性器外傷 | 泌尿器科 (山下真平) |
| 8. 尿路性器感染症 | 泌尿器科 (柑本康夫) |
| 9. 尿路結石症 | 泌尿器科 (柑本康夫) |
| 10. 尿路性器先天異常 | 泌尿器科 (吉川和朗) |
| 11. 腎移植 | 泌尿器科 (吉川和朗) |
| 12. 精巣腫瘍、陰茎腫瘍 | 泌尿器科 (原勲) |
| 13. 排尿機能障害、婦人泌尿器科 | 泌尿器科 (吉川和朗) |
| 14. 腎腫瘍 | 泌尿器科 (山下真平) |
| 15. 尿路通過障害 (前立腺肥大症を含む)、VUR | 泌尿器科 (吉川和朗) |
| (3) 腎臓病学総論 | |
| 1. 腎臓内科学総論 | 腎臓内科 (荒木信一) |
| 2. 腎臓病診断学 | 腎臓内科 (大矢昌樹) |
| (4) 腎臓病学各論 | |
| 1. 原発性糸球体腎炎 | 腎臓内科 (橋本整司) |
| 2. 全身疾患に伴う腎疾患 | 腎臓内科 (中島悠里) |
| 3. 腎臓病としての高血圧 | 腎臓内科 (有馬秀二) |
| 4. 腎尿細管間質性疾患 | 腎臓内科 (荒木信一) |
| 5. 慢性腎臓病 (CKD) | 腎臓内科 (重松隆) |
| 6. 急性腎障害 | 腎臓内科 (矢野卓郎) |
| 7. 水・電解質異常と輸液療法 | 腎臓内科 (田中佑典) |
| 8. 血液浄化療法 | 腎臓内科 (山本脩人) |
| 9. 災害医療・地域医療における腎疾患 | 腎臓内科 (山本脩人) |
| 10. 遺伝性腎疾患 | 腎臓内科 (大矢昌樹) |
| 11. 尿所見異常から探る体液・電解質の異常 | 腎臓内科 (荒木信一) |
| 12. 血尿・蛋白尿から考える腎疾患の鑑別診断 | 腎臓内科 (荒木信一) |
| 13. 慢性腎臓病の運動・食事療法 | 腎臓内科 (北田宗弘) |

IV 学習および教育方法

講義：講義形式による。Power point スライド、プリントなど

V 評価の方法

試験・レポートなど評価事項のいずれでも、腎臓内科・泌尿器科と合算で100点満点で60点以上を合格とする。ただし、単独教科（腎臓内科・泌尿器科）が著しく低いものにおいては60点以上であってもその限りではない。

また、2/3以上の時間数講義に出席した者のみに試験受験資格を認める。出席確認時後の遅刻は出席と認めない。

VI 推薦テキスト及び参考書

(1)テキスト

内科学 第11版(分冊版)	朝倉書店	27,270 円
図解 水・電解質テキスト	文光堂	6,500 円
酸塩基平衡、水電解質が好きになる	羊土社	2,800 円
水・電解質と酸塩基平衡-step by step で考える-	南江堂	2,800 円
より理解を深める!体液電解質異常と輸液 3版	中外医学社	5,500 円
30日で学ぶ水電解質と腎臓病 メディカル・サイエンス・インターナショナル		5,670 円
腎生検診断 Navi	メディカルレビュー社	3,500 円
腎生検から学ぶ腎臓病学	診断と治療社	9,000 円
慢性腎臓病(CKD)診療ガイド2012(日本腎臓学会編)	東京医学社	1,000 円
血液浄化療法ハンドブック改訂第5版	共同医書出版	5,500 円
図解腎臓内科学テキスト	中外医学社	7,980 円
新・病態生理でできた内科学3	医学教育出版社	3,885 円
病気がみえる vol.8 腎・泌尿器	Medic Media	3,465 円
膠原病診療ノート第4版	日本医事新報社	6,490 円
TEXT 泌尿器科学	南山堂	7,140 円
標準泌尿器科学	医学書院	6,825 円
NEW 泌尿器科学	南江堂	6,615 円
Smith's General Urology(16ed.)	Lange	6,294 円
Campbell's Urology	Saunders	75,676 円

(2)参考書

腎生検の病理	診断と治療社 本体	3,000 円
Clinical Nephrology	Mosby	31,422 円
腎臓病:診断と治療の最前線	先端医療技術研究所	9,333 円

講義日程表

腎・泌尿器系

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R4.2.7	(月)	1	尿路性器の解剖と発生	泌尿器科	原
2	R4.2.14	(月)	1	尿路性器疾患症候学	泌尿器科	原
3	R4.2.16	(水)	1	尿路結石症	泌尿器科	柑本
4	R4.2.21	(月)	1	尿路性器検査、処置	泌尿器科	柑本
5	R4.2.21	(月)	2	尿路上皮腫瘍	泌尿器科	柑本
6	R4.2.21	(月)	3	排尿機能障害、婦人泌尿器科	泌尿器科	吉川
7	R4.3.2	(水)	1	尿路通過障害(BPHを含む)、VUR	泌尿器科	吉川
8	R4.3.7	(月)	1	前立腺癌	泌尿器科	原
9	R4.3.7	(月)	2	精巣腫瘍、陰茎腫瘍	泌尿器科	原
10	R4.3.7	(月)	3	尿路性器感染症	泌尿器科	柑本
11	R4.4.13	(水)	1	尿路性器の画像診断	泌尿器科	山下
12	R4.4.13	(水)	2	腎腫瘍	泌尿器科	山下
13	R4.4.20	(水)	1	尿路性器先天異常	泌尿器科	吉川
14	R4.4.20	(水)	2	腎移植	泌尿器科	吉川
15	R4.4.27	(水)	1	尿路性器外傷	泌尿器科	山下

講義日程表

腎・泌尿器系

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
16	R4.4.27	(水)	2	腎臓内科学 総論	腎臓内科学	荒木信一
17	R4.5.11	(水)	1	腎臓病診断学	腎臓内科学	大矢昌樹
18	R4.5.18	(水)	1	原発性糸球体腎炎	腎臓内科学	橋本整司
19	R4.5.25	(水)	1	全身疾患に伴う腎疾患	腎臓内科学	中島悠里
20	R4.6.1	(水)	1	急性腎障害	腎臓内科学	矢野卓郎
21	R4.6.6	(月)	2	腎尿細管間質性疾患	腎臓内科学	荒木信一
22	R4.6.6	(月)	3	水・電解質異常と輸液療法	腎臓内科学	田中佑典
23	R4.6.8	(水)	1	腎臓病としての高血圧	腎臓内科学	有馬秀二
24	R4.6.13	(月)	1	慢性腎臓病(CKD)	腎臓内科学	重松隆
25	R4.6.13	(月)	2	血液浄化療法	腎臓内科学	山本脩人
26	R4.6.13	(月)	3	災害医療・地域医療における腎疾患	腎臓内科学	山本脩人
27	R4.6.15	(水)	1	遺伝性腎疾患	腎臓内科学	大矢昌樹
28	R4.6.20	(月)	2	尿所見異常から探る体液・電解質の異常	腎臓内科学	荒木信一
29	R4.6.20	(月)	3	血尿・蛋白尿から考える腎疾患の鑑別診断	腎臓内科学	荒木信一
30	R4.6.22	(水)	1	慢性腎臓病の運動・食事療法	腎臓内科学	北田宗弘